

そば道段位認定会いなべ大会技能審査会実施要項 (全麵協 初段位、二段位認定会)

1. 趣 旨

「そば」は古くから各地で栽培され食されてきており、今では健康食品や栄養食品として見直されてきています。また、地域づくりの核としても取り上げられるなど多くの人に愛され「そば」の評価は高まっており、この大会において、そば打ちを通して多くの方が「そば」に親しみ、その食文化を理解し生産と消費の拡大を図るなど、地域活動の一員として、活躍されることを期待するものです。

2. 大会の位置付け

この大会は、一般社団法人全麵協(以下、「全麵協」という。)が定める「そば道段位認定制度規程」に基づき「初段位」及び「二段位」の認定会として実施します。

3. 主 催

いなべ市蕎麦打ち同好会「雅」

4. 後 援 全麵協

5. 開催日時

令和6年11月23日(土) 初段 午前8時50分～午前11時00分ごろ
令和6年11月23日(土) 二段 午後1時00分～午後3時30分ごろ

6. 開催場所

三重県いなべ市員弁町楚原 475 番地 1 (別添地図)
いなべ市商工会員弁支所 2 階

7. 受験資格

【初段位】

手打ちそば愛好家で、そば打ちを職業としない方で年齢13歳以上の方

【二段位】

上記、初段位と同じ。加えて初段位に認定後1年度以上経過しており、全麵協の個人会員又は、特別会員の方。

※他会場で受験され不合格となり、本大会実施時点で下記の期間を経過していない方は、受験できません。

- 1) 初段位2ヶ月以上、二段位6ヶ月以上
- 2) 複数の「段位認定会」への重複受験申込みは、禁止されております。

8. 募集人数

初段位 20名 (23日午前2回実施予定)
二段位 20名 (23日午後2回実施予定)

※申し込みが募集人数を超えた場合は、先着順とします。

9. 段位認定基準

全麵協「そば道段位認定制度規程 第9条 段位認定技能審査基準」によります。

10. 審査員

全麵協公認の審査員5名

11. 受験料・認定料

【受験料】

段 位	受験料 (円)	
	個人会員・特別個人会員	非会員
初段位	3,000	3,000
	6,000	7,000

〃 (学生 13 歳以上)	4,000	4,000
二段位	8,000	受験できません
〃 (学生 13 歳以上)	4,000	4,000

※ 学生とは、高校生以下とします。

※ 初段位受験料は特例として、令和 7 年 3 月 31 日迄は 3,000 円とします。

【認定料】

各段位の審査に合格した方は、上記受験料のほか下記認定料を全麵協に納入することにより、段位認定証が交付されます。

段 位	認定料 (円)	
	個人会員・特別個人会員	非会員
初段位	5,000	8,000
〃 (学生 13 歳以上)	4,000	4,000
二段位	6,000	認定できません
〃 (学生 13 歳以上)	4,000	4,000

12. 申込み方法

別紙「そば道段位認定会いなべ大会技能審査会参加申込書」に必要事項を記入し提出して下さい。
(申込書は審査対象です。)

申込書は、郵送若しくはパソコンメール(PDF)での受け付けとさせていただきます。

申込み用紙について参加人員が多い場合は、増す刷りして利用して下さい。(所属団体の欄は、全麵協登録が無くては必ず記入して下さい)

そば道段位認定会いなべ大会「技能審査会実施要項」及び「技能審査会参加申込書」については、URL <http://inabesoba.com> に掲載があります。なるべく各団体でまとめて提出して下さい。

～問い合わせ・申込み先～

〒511-0211 三重県いなべ市員弁町松名新田 15 番地 7

いなべ市蕎麦打ち同好会「雅」 事務局 伊 町 裕 一

携帯電話 090-1416-8429 E-mail <inabesoba.miyabi2023@gmail.com>

13. 申込み期限

令和 6 年 9 月 25 日 (月) 必着 なお、定員になり次第締め切ります。

14. 受験の可否の通知

令和 6 年 10 月中旬に受験の可否及び受験料の納入期日・納入方法等について通知いたします。

15. 道具及び必要物品

そば打ち道具については、打ち台 縦 100 cm、横 110 cm、高さ 75 cm、木鉢外径 54 cm(受験者により外径 48 cm の木鉢の持ち込み可)、篩い網目 40 目、乾燥防止用袋は主催者が準備いたします。

麵棒、巻き棒、こま板、包丁、まな板、計量カップ、清掃用具、ふきん等は、ご自分の道具を持参して下さい。

会場で用意をしていたロージを統一するために蕎麦道具屋さんで市販されているポリ容器(28.5×38.5×5) 初段 1 箱・2 段 2 箱を持参いただき認定会終了後、ご自分の切った麺をそのまま持ち帰っていただけます。ロージを含め、各道具を持参できない方は、認定会場後方に用意してありますので利用できます。

また、麵台の高さの調整は出来ませんので踏み台で調整される方は、出場者の方で準備してください。

16. その他

打ったそば及び打ち粉・そばの切りくずについて、審査終了後に受験者が必ず持ち帰りを願います。